

時事新報

日刊行新聞紙なり
第二千四百號
明治廿二年九月一日
舊曆己丑八月八日
月曜日
日山平浪五時十四分
月山平浪六時六分
月入午後十時十七分
潤燥午後九時二十二分
午後九時五十分
(辛巳)
(西曆一千八百八十九年)

○内務、大藏兩省は來る十一日より午前九時出頭午後三時退省と定めらるよし
○圖書館の變更 東京圖書館にては先づ普通書籍を主参考圖書館とせしが尙ほ同館にては昨年學術研究に就

被害人民の記憶し
に今官吏の勉強二
警察官、司獄官、和
の救恤に全力を傾
ちて市内を巡視し
々吏員役夫と共に
に頑張つた

北海道の面積は五千八百六十餘方里にして沿海周圍は七百餘里と稱し山岳河湖濕地等を除き其三分の一を開拓するも尙ほ千九百五十三方里餘の沃土を生ずるの割合にして日本國中遺利の多く富源の最も深きものは唯一の北海道あるのみと申して可あらん左れば我が經國の士も夙より此に見る所ありて彼の水戸烈公の如き親りら蝦夷に赴きて開拓の任に當らんと當時幕府に建議したるふとありしうとも徒に俗吏を驚かしたるまでよして讓遼に行はれさりしと云ふ此他開拓の策を抱きたる人々あきに非されども時勢奈何どもする能はずして明治の初年政府が開拓使を設置したるまでは大よ之を實施する者もあかりしと云ふ此他開拓使設置以來十幾年にして今の北海道廳に改まり前後凡そ二十年間、時に消長利鈍なきに非ざれども始終開拓の方針を取りて其年間に國庫の金を費したるふと凡そ三千萬圓に上る可しと云ふ斯くて其成績如何と云へば明治三年海產物收穫高七萬九千二十五石餘其代價三十八萬九千六百十一圓餘なりしに至り同二十年には百三萬三千七百三十六石餘其代價五萬七千二十三圓餘となり明治八年鐵產物採掘高九萬四千七百六十貫目其代價千五百七十七圓餘なりしに至り同二十年には三十七萬九千二百四十五石其代價八十二萬四十五圓餘となり其他牧畜山林田畠殖殖繁昌の跡少なからず又全道の人口を申せば明治二年五萬七千四百二十六人ありしに因二十年には三十二萬千百十八人と爲り凡そ二十六萬三千六百餘人を增加したる割合にして三千萬圓を費したる結果は煙に非ず又零よ非ざれども今海外殖民地の例を以て云へば北米合衆國濱洲カナダは申すに及ばず亞弗利加に南亞利米加に西洋移住民の到る所、數年ならずして聚落を成し又迄て都會を成し大廈高屋軒を駕べ商工殖産一切の事孰れも同比例に進歩して其進歩の迅速なると我が北海道などの比ぶ非ず左れば本國政府にては此等の移住民に對し又その住民諸々の力を以て之よゝ殖民地を打ち立てたる頃殖民地に向て巨額の補助費を出せしやと云へば彼の三千萬圓は愚か、曾て半文錢をも費さうのみあらず移住民諸々の力を以て之よゝ殖民地を打ち立てたる頃を窺ひ本國政府は多少課稅の特權を得て懦手で粟の利を收むるを常とす然るに今我が北海道は其山林河海田野の富を以て海外諸殖民地に比するも劣る所なき其上より政府の保護政策に金を費すみと彼の如くみて其成績の此の如くなるは比較上十分の表功と云ふ可らざるものゝ如し即ち右三千萬圓の出費を以て二十年間より増加したる北海道三十萬足らずの殖民に割り當つれば一殖民を務めるが爲めよろ百餘圓づゝを費したる勘定にして當年開拓創始の際、事業困難にして出費多く殊に移住を希望せる我が内地人を獎勵して殖民の實を擧げんとする等の情實は無限なりしむらんかあれども

○監獄署の入費減ず　監獄規則を改正し未決囚への食料費は減じたりと云ふ

○村長縣廳に出頭す　神奈川縣下高座郡役所は東海道藤澤驛に設置しあり同驛は郡の一方に僻在して遠隔の地方に在る人民に取りては不便甚からざるよ付郡の中央ある溝口村に移轉せられ度旨同地方人民より兼て同縣廳へ出願し置きしも今に何等の指令あきに付さ一時記官に面會の上移轉請願の理由を述べて退出したりと中村鐵兵衛、鶴見村長蜂須賀文二郎、大野村長河内崎磯大津村長高橋伊三郎の六氏は同縣廳より出頭して知事に田沼書記官に面會を求めしも不在ありしかば三橋事務官に面會の上移轉請願の理由を述べて退出したりと中より此は東京農林學校の獸醫學部に蹄鐵工の一科を加へん目的ありと云ふ

○北海道電燈會社の設置　丹羽維孝、對馬嘉三郎の二氏を始め外數名の發起に成りたる北海道電燈會社は资本十六萬圓を以て札幌に本社を置き小樽及函館の兩所に支社を設くる筈にて去る二十二日北海道廳長官の認可を得たれば東京電燈會社に依頼して工事よ着手となり其點燈料は東京の半價位にて充分あるべしと本年中よりは是非點火の運びにあさんとて目下其準備に着手する由因に配す同地方は府下と違ひ石炭の廉價なる故りしが今回更に社長三浦惠民氏外五十餘名の總代選舉を以て同社維持の爲め拜借金増加の儀を其筋へ請願せりと云ふ右にて同社の資本金は八萬五千圓となりたる所處去月二十九日乙種の方へ一萬圓の増拜借を許されど返納等の手續は前略借金と同様心得べき旨指令ありたるの兩年よして各十萬斤餘に達したりと云ふ左れど惜む可きは日本產は清國產に比すれば皮色惡しく且つ其味勁烈にして芳しからず故に常に下等に列しをれども元來來用多き品なる故不評判あからも賣行よし就ては今後品質を改良し皮色を黄ならしめ充分乾燥したるのを輸出せば必ず好評を博するに至るべし且本邦百斤の相場は二圓八九十錢より二圓三四十錢位ありし清國廣東產の上物は八圓三四十錢位にて取引あり芝罘よりの近似に見ゆ

○和歌山縣水害の概況(第二報)

第三水害又關する雜件

官吏の怠慢　斯る危機の災害に關しては當局官吏の強姦、力應ふ然と可きみとありと雖も其勞苦の如何は